

KIT-DBL-461

1.8MHz~30MHz

50Ω不平衡 : 200Ω or 300Ω不平衡

UN-UN (インピーダンス変換)

許容入力電力 : 耐入力130W (FM30W)

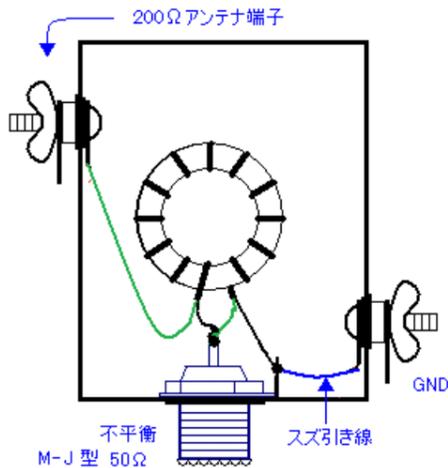
サイズ50W×75H×30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

||||| 50Ω : 200Ω / 300Ω UN-UNの作り方 |||||

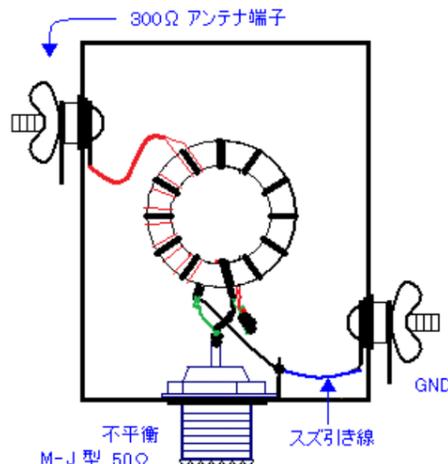
50Ω : 200Ω または 300Ω を作ります

- ①、0.51mmペア色別線を、コアに、12回巻きして、DBL-41 (50Ω : 200Ω)を作ります
- ②、2本の0.51mm単線被膜線を①で巻いたペア色別線を間にして両横に並列に、5回 追加巻きして DBL-61 (50Ω : 300Ω)を作ります
- ③、端末配線の通り配線し、半田付けします
- ④、プラボックスにボルトナットM-BR (M型座) を取り付ける
- ⑤、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑥、接着剤などで、端子等をかたためて、フタをして完成です

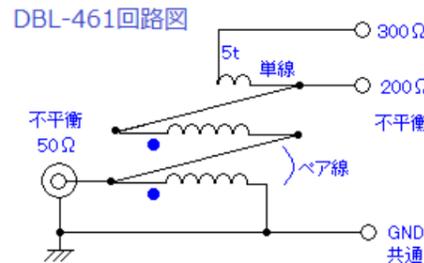
DBL-41構成図



DBL-61構成図

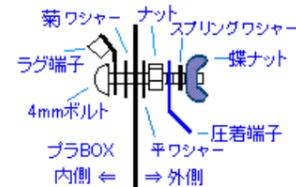


回路図

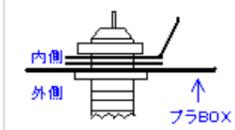


	巻き数比	インピーダンス比
300Ω	1:2.42	1:5.84 = 50Ω:292Ω
200Ω	1:2	1:4 = 50Ω:200Ω

端子取付方法

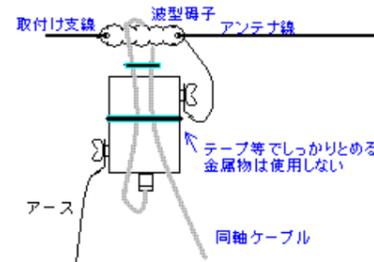


同軸接栓座MBRの取付方



従来のダイキャストタイプが入手不可となり、現在黄銅製の中空タイプに代わりました。中空タイプなので、強い負担のからぬよう取扱いにご注意下さい

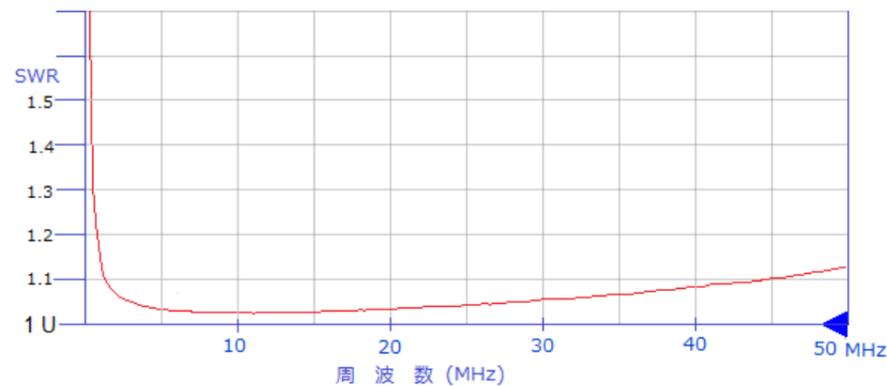
アンテナ取付例



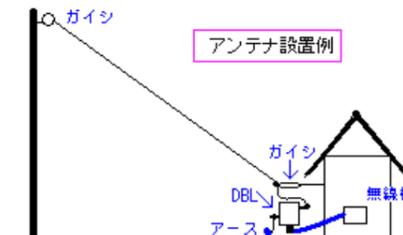
同軸ケーブル

DBL-461 代表特性

DAISHI RADIO INC.

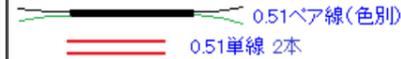


アンテナ設置例

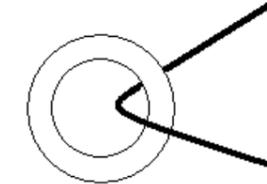


コアの巻き方

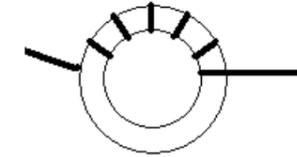
1. 0.51mmペア色別線と、0.51mm 2本の単線被膜線を使います



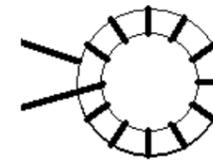
2. まず、0.51mmペア色別線を、コアに約半分の長さで通します



3. 半分の0.51mmペア色別線を6回巻きます (コア内通過数)

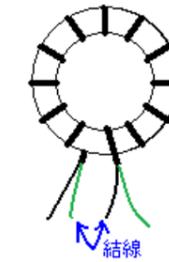


4. もう半分のペア色別線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数) 合計12回巻きます

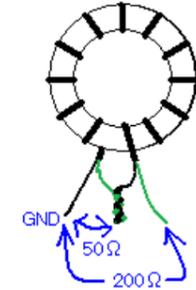


5. 端末配線

下図のように巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます

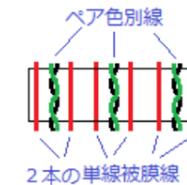
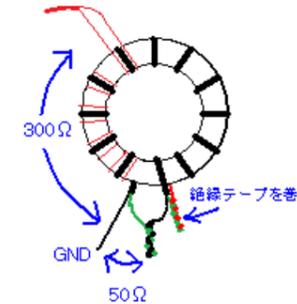


6. 50 : 200Ωコアの完成

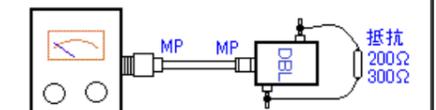


7. 50 : 300Ωコア

0.51mm単線2本を200Ωの出力線と結線ねじり合わせ、ペア色別線を間にして、両側に5回追加巻きします
結線部は、絶縁テープなどを巻いておきます



SWR測定方法



アンテナ SWR計 アナライザーなど

抵抗は短く接続します (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

50 : 200Ωコアの製作例



50 : 300Ωコアの製作例

